

2012年2月19日(日)

13:00 ~ 18:00

入場無料
参加自由

- 13:00 開会の挨拶
- 13:05 趣旨説明 / 菊谷竜太 (東北大学)
- 13:20 講演 ① / 奥山直司 (高野山大学)
「河口慧海による梵語・チベット語仏典の収集とその意義」
- 14:20 講演 ② / 長岡龍作 (東北大学)
「日本美術史研究者にとっての河口コレクション」
- 15:20 ブレイク
- 15:30 発表 ① / 高本康子 (群馬大学)
「多田等観関連資料の現在」
- 15:50 発表 ② / 菊谷竜太 (東北大学)
「インド仏教聖典の翻訳とチベット大蔵経の形成」
- 16:10 発表 ③ / 井内真帆 (日本学術振興会)
「蔵外文献をめぐる学界動向と日本所蔵蔵外文献の活用に対する提案」
- 16:30 発表 ④ / 吉崎一美 (ネパール研究家)
「河口コレクションとネパール仏教」
- 16:50 ブレイク
- 17:10 パネリストによるセッション
司会: 桐原健真 (東北大学)
- 17:50 閉会の挨拶

聖典とチベット

— 仏のことはを求めて

古来「仏のことは」は東北アジアとインドとを結びつけてきた。本シンポジウムでは、近代化のなかチベットに入った学僧達の思想や動向が、チベット僧ならびにチベット仏教の伝統といったいどのように関わりその後いかなる影響を与えていくのか、河口慧海と多田等観という二人の入蔵僧に纏わる資料を中心に多角的に考察していく予定である。



会場 東北大学片平さくらホール 2階

仙台市青葉区片平2-1-1

お問い合わせ 東北大学大学院文学研究科 インド学仏教史研究室
菊谷 竜太 Tel 022-795-6025 / Fax 022-795-3587 E-mail: indobuddhology@gmail.com

主催: 東北大学東北アジア研究センター <http://www.cneas.tohoku.ac.jp/>
後援: 東北大学大学院文学研究科 協賛: 東北インド・チベット資料研究会

募集: 仙台市外より参加する大学院生等を対象に旅費の一部を補助します。
応募要領は東北アジア研究センターホームページに掲載しております。

写真提供: 東北大学大学院文学研究科



東北大学